

科目名	話し合い活動実践演習		教員名	初鹿野 修・喜屋武光代	配当年次	1～4年
実務教員	2名	実務教員の紹介	小学校教諭25年以上 管理職経験 10年			

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

特別活動における「学級活動：話し合い活動」の演習として、学級会・学級活動(2)(3)・ディベート・場面指導を演習として、実践的に学ぶ

○到達目標 1 話し合い活動の基本的な手順を知る 2 教育現場で起きている諸問題についての話し合い活動ができる 3 諸課題に対して、ディベートを行うことにより、物事を論理的に整理し、意見を言うことができるようにする 4 いろいろな場面指導を通して、学校現場での子ども・保護者・同僚等への対応を学ぶ

2. 授業計画 (1時限 50分×授業回数)30時間

1	オリエンテーション・特別活動とは、学級活動の内容
2	小学校教員としての話し合い活動の具体的な内容。演習長を決め、自主的演習とする
3	①学級活動(1)：議題を決めての話し合い活動の実践 ・学級に起こりうる議題の設定 ・司会の学び ・意見を言うことの学び ・その他
4	
5	
6	
7	
8	
9	②学級活動(2)(3)：日常生活や学習への適応等・一人ひとりのキャリア形成と自己実現に向けての意思決定
10	
11	③テーマを決めてのディベート活動の実践 ・喫緊の課題 ・論理性のある意見 ・ディベートの司会、評価ができる
12	
13	
14	④場面指導の自己の教育理念に沿った指導の実践 ・学校で起こりうる場面指導の演習 ・自分の教育理念に沿った指導 ・学び合いを通してほかの学生から学ぶ
15	
16	
17	
18	
19	
20	

3. 評価方法

出席率・授業態度・積極性等を総合的に判断する

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
特別活動指導資料・みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動	文部科学省	文溪堂

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教授論作文		教員名	吉浜 幸雅	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて勤務 教諭・教頭・県指導主事・校長職を経ている			

1. 授業概要 （授業方法： 講義・演習 ）

授業のテーマ
論作文は教員として求められている資質や能力が備わっているかどうか判断する上で、重要なものの一つである。論作文において、与えられた課題についての認識の深さ、課題解決力や指導力、論理的思考力、文章表現力、教育に対する情熱や愛情、教師としての使命感や意欲、人間性などをみることができる。これらはいずれも教員としての職務をよりよく遂行し、今日的な学校教育の様々な課題を解決していくうえで欠かすことのできない大切な資質や能力である。
授業の概要
筋道の通った良い論作文を書くため、文章の修練を重ね表現力を高める。より良い論作文の書き方を身に付け、論理的で、教育への使命感やこどもへの愛情がにじみ出た筋道の通った論作文を書けるよう、学習していく。

2. 授業計画 （1時限 50 分×授業15回数 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	論作文の基礎・基本	25	
3	論作文のテーマ分類	26	
4	論作文の課題例	27	
5	論作文の型、キーワード等	28	
6	序論の作成	29	
7	柱と論例策の作成	30	
8	添削後の指導・アドバイス	31	
9	論作文例を読み解く	32	
10	添削後の指導・アドバイス	33	
11	論作文例との比較	34	
12	添削後の指導・アドバイス	35	
13	論作文作成	36	
14	添削後の指導・アドバイス	37	
15	まとめ	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

授業態度、学習意欲、論作文、添削後の再論文等を総合的に判断する。

4. テキスト・参考文献等 （書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 αシリーズ 教育論作文』	沖山吉和	一ツ橋書店

5. その他・特記事項

--

2024年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	野外活動実践演習		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

授業のテーマ
現代の子どもたちには、自然体験、集団活動、直接体験が不足していることが危惧されている。小学校教諭を目指す学生がこどもたちの自然体験活動を実施に向けて計画、準備、実施、振り返りの活動を通して野外活動の指導力を付ける。
授業の概要
自然体験活動に向けた施設職員との打ち合わせから活動計画の立て方、自然体験での注意事項などの学習を基礎にこども未来本科の学生とともにこども達の体験活動を指導できる素地を養う。

2. 授業計画 事前指導50分×8実習1時限45分×4授業)×10日)事後指導50分×8 90時間

1	オリエンテーション (実習の主旨・内容・評価等に関する説明)	24	しおり作成10 (清掃分担表)
2	スケジュール確認	25	しおり作成11 (野外レク1ルール説明と準備)
3	スケジュール確認	26	しおり作成12 (野外レク2ルール説明と準備)
4	実習実地踏査 青少年自然の家での打ち合わせ	27	しおり作成13 (野外レク3ルール説明と準備)
5	活動内容調査1	28	しおり作成14 (体育館レク1ルール説明と準備)
6	活動内容調査2	29	しおり作成15 (体育館レク2ルール説明と準備)
7	活動内容調査3	30	しおり作成16 (歌集)
8	予算書の作成	31	しおり作成17 (バス座席表)
9	活動内容の決定1日目	32	しおり作成18 (記録1日目 記録2日目 実習を振り返って)
10	活動内容の決定2日目	33	宿泊学習実施申請書の作成
11	プログラム作成1日目	34	参加学生への説明会 こども未来本科学生全員
12	プログラム作成2日目	35	
13	係り編成	36～42	青年の家職員との事前打ち合わせ
14	クラス編成		
15	部屋割り	42～52	役割分担・買い物・事前準備
16	しおり作成1 (学習のねらい)		
17	しおり作成2 (活動場所の紹介・及び注意事項)	53～60	レク準備 小道具 司会シナリオ
18	しおり作成4 (活動に向けた集団行動の規律)		
19	しおり作成5 (持ち物の確認)	61～71	しおり印刷・製本 (学生用・教職員用)
20	しおり作成6 (クラス編成)		
21	しおり作成7 (係り活動内容)	72～88	実践演習
22	しおり作成8 (バスレク内容)		
23	しおり作成9 (野外炊飯)	89・90	振り返り

3. 評価方法

学習状況の確認：記録記載内容・アンケート等

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
玉城青少年自然の家パンフレット 玉城青少年の家利用者フォームページ 前年度の資料 小学校学習指導要領	文部科学省	

--

2024年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	体育模擬授業		教員名	吉浜 幸雅	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて勤務 教諭・教頭・県指導主事・校長職を経ている			

1. 授業概要 （授業方法： 講義・演習 ）

授業のテーマ
授業は教員として求められている資質や能力が備わっているかどうか判断する上で、重要なものの一つである。児童を前にして、身につける学習内容をはっきりさせ主体的に考え解いていく授業展開作りは、教育に対する情熱や愛情、教師としての使命感や意欲、人間性などをみることができる。これらはいずれも教員としての職務をよりよく遂行し、今日的な学校教育の様々な課題を解決していくうえで欠かすことのできない大切な資質や能力である。
授業の概要
授業実践を行う中で児童に身につけてほしい内容をはっきりさせ授業展開することは、教師にとって最も大切な要素である。そこで、実際に児童を目の前にした授業展開を想定し、指導案を作成・授業実践（模擬授業）を行う。クラスの仲間と授業を振り返る演習を通し教育への使命感やこどもへの愛情がにじみ出た筋道の通った授業づくりを学習していく。

2. 授業計画 （1時限 50 分×授業15回＝総授業時数 15時間

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	指導案の書き方の基礎・基本	25	
3	児童に問いを持たせる導入	26	
4	授業で学ぶべき内容をはっきりさせる技法	27	
5	個人での学習から隣同士の学習	28	
6	グループ学習	29	
7	まとめと振り返り	30	
8	指導案作成	31	
9	模擬授業A・振り返り学習	32	
10	模擬授業B・振り返り学習	33	
11	模擬授業後の指導・アドバイス	34	
12	模擬授業C・振り返り学習	35	
13	模擬授業D・振り返り学習	36	
14	模擬授業E・振り返り学習	37	
15	模擬授業後の指導・アドバイス・まとめ	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

授業態度、学習意欲、模擬授業実践、振り返り学習まとめノートを総合的に判断する。

4. テキスト・参考文献等 （書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『問いが生まれるサポートガイド』	沖縄県教育委員会	

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採社会		教員名	乾 芳壽	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校に教諭・教頭・県指導主事・校長を経験した。			

1. 授業概要（授業方法： 講義・問題演習 ）

授業のテーマ 沖縄県小学校教員採用試験「社会科」に対する試験対策を行う。 講義、演習を通して、教員採用試験の社会科の出題を解答する力をつける。
授業の概要 社会科の基礎学力を身に付ける。 実力テストの時間に教員採用試験過去問題を解答する。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数35 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	中世②（室町時代～戦国時代）
2	地図と地図記号	25	実力テスト
3	世界の地形	26	近世①（安土桃山時代～江戸時代）
4	世界の気候と雨温図	27	近世②（江戸時代前期）
5	実力テスト	28	近世③(江戸時代後期)
6	日本（沖縄地方）	29	実力テスト
7	日本（九州地方）	30	近代①(明治時代)
8	日本（四国地方）	31	近代②(大正時代)
9	実力テスト	32	近代③(昭和時代)
10	日本（中国地方）	33	実力テスト
11	日本（近畿地方）	34	日本国憲法と基本的人権
12	日本（中部地方）	35	政治の仕組み
13	実力テスト	36	地方自治と選挙
14	日本（関東地方）	37	実力テスト
15	日本（東北地方）	38	
16	日本（北海道地方）	39	
17	実力テスト	40	
18	原始・古代①(世界の4大文明)	41	
19	原始・古代②(縄文時代～古墳時代)	42	
20	実力テスト	43	
21	模擬テスト	44	
22	原始・古代③(奈良時代～平安時代)	45	
23	中世①(鎌倉時代～南北朝時代)		

3. 評価方法

学習状況の確認：授業記録（学習ノート）において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：演習問題試験により評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 小学校全科らくらくマスター』	小山隆之著	実務教育出版 七賢出版

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採国語		教員名	乾 芳壽	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校に教諭・教頭・県指導主事・校長を経験した。			

1. 授業概要（授業方法： 講義・問題演習 ）

授業のテーマ 沖縄県小学校教員採用試験「国語科」に対する試験対策を行う。 講義、演習を通して、教員採用試験の国語科の出題を解答する力をつける。
授業の概要 国語科の基礎学力を身に付ける。 実力テストの時間に教員採用試験過去問題を解答する。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数35 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	現代文法(品詞の分類② 用言)現代文法
2	二字熟語の読みの練習	25	現代文法(品詞の分類③自立語と付属語)
3	熟字訓の練習	26	現代文法(品詞の分類④品詞の見分け方)
4	三字熟語の練習	27	小説文・説明文の読解練習 3
5	古典・宗教・動植物の漢字の練習	28	実力テスト 3
6	類義語	29	俳句
7	対義語	30	短歌
8	四字熟語	31	詩
9	小説文・説明文の読解練習 1	32	文学史①(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)
10	実力テスト 1	33	文学史②（中世と近世の文章）
11	頻出二字熟語の書き取り練習	34	漢文の基本
12	同音異字の書き取り練習	35	漢詩①（漢詩の基本）
13	同訓異字の書き取り練習	36	
14	間違えやすい漢字書き取り練習	37	
15	ことわざ①	38	
16	故事成語①	39	
17	慣用句①	40	
18	小説文・説明文の読解練習 2	41	
19	実力テスト 2	42	
20	ことわざ②	43	
21	故事成語②	44	
22	慣用句②	45	
23	現代文法(品詞の分類① 体言)		

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定 科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 小学校全教科らくらくマスター』	小山隆之著	実務教育出版

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採理科		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要（授業方法：）

自然現象の不思議や科学の面白さ、大切さを児童に伝えるために、基礎的知識を身につける事をめあてとし、小学校で理科を指導する上で必要な専門知識を養成するために、小学校及び中学校理科の各分野の解説並びに問題に取り組むことにより基礎的知識を身につける。また教員採用試験に向けた問題も取り組む。 ○理科各分野の解説 ○理科各分野の問題 ○教員採用試験問題

2. 授業計画（1時限 50 分×授業45回数 回＝総授業時数 分）

1	力学	24	25～30 教育採用試験練習問題 エネルギー・運動（物理分野）
2	光学・圧学・浮力	25	
3	音	26	
4	仕事	27	
5	エネルギー	28	
6	電流と電圧	29	
7	電流と発熱	30	
8	電流と磁界	31	30～35 教育採用試験練習問題 植物・動物（生物分野）
9	物質の状態と溶液	32	
10	気体	33	
11	化学変化	34	
12	電気分解と水溶液	35	
13	器具の取り扱い	36	35～40 教育採用試験練習問題 化学変化・溶液等（化学分野）
14	生物の観察と細胞	37	
15	植物のつくり	38	
16	光合成と植物の分野	39	
17	身近な動物	40	
18	ヒトのからだ	41	40～45 教育採用試験練習問題 地球・天体（地学分野）
19	天気	42	
20	20～25 教育採用試験練習問題 学習指導要領	43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

--

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
小学校全科らくらくマスター 中学3年分丸ごと総復習	小山 隆之（資格試験研究会編） 益井英郎	実務教育出版 文英堂

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採体育		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要（授業方法：）

○体育科の学習内容の中で各学年で身につけたい技や技がうまくできない児童への指導法・保健領域に関する内容、指導法について基礎的な知識を持つ

○教員採用試験問題に挑戦する

2. 授業計画（1時限 50 分×授業15回数 回＝総授業時数 分）

1	体育科の目標と内容	24	
2	体育科の指導計画の作成と内容の取扱い	25	
3	体つくりの運動	26	
4	マット運動	27	
5	鉄棒運動	28	
6	跳び箱運動	29	
7	陸上運動	30	
8	水泳	31	
9	ボール運動	32	
10	表現運動	33	
11	応急手当	34	
12	熱中症・生活習慣病	35	
13	喫煙・飲酒・薬物乱用	36	
14	体力テスト	37	
15	まとめ	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：授業記録（学習ノート）において理解、思考表現により判定

科目の成績評価：演習問題試験により評価学習状況の確認

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
小学校全科らくらくマスター	小山隆之（資格試験研究会編）	実務教育出版

5. その他・特記事項

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採図画工作		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 （授業方法： 講義・問題演習 ）

授業のテーマ
小学校で指導しなければならない各学年の内容や材料・用具についての理解を深める。
授業の概要
教員採用試験で出題される「図画工作」の問題を分析しながら小学校で指導しなければならない各学年の内容や材料・用具についての理解を深める為に問題演習を行う。

2. 授業計画 （1時限 50 分×授業15回数 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	図画工作科の目標と内容 1	25	
3	図画工作科の目標と内容 2	26	
4	絵画	27	
5	版画	28	
6	彫刻と粘土	29	
7	デザイン	30	
8	工芸	31	
9	用具の取り扱い	32	
10	西洋の美術	33	
11	日本の美術	34	
12	まとめ	35	
13	採用試験模擬テスト1	36	
14	採用試験模擬テスト2	37	
15	採用試験模擬テスト3	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等 （書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 小学校全科らくらくマスター』	小山隆之著	実務教育出版

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採算数		教員名	美里 勉	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	専門学校及び進学塾にて授業を担当した。			

1. 授業概要（授業方法： 講義・問題演習 ）

授業のテーマ
沖縄県小学校教員採用試験「算数科」に対する試験対策を行う。 講義、演習を通して、教員採用試験の国語科の出題を解答する力をつける。
授業の概要
算数科の基礎学力を身に付ける。 実力テストの時間に教員採用試験過去問題を解答する。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業60回数 回＝総授業時数 分）

1	シラバス、授業計画、ノートの整理の仕方等基本の説明	24	教育採用試験練習問題 (低学年内容)
2	四則計算と正負の計算（計算の順番ルール）	25	
3	小数・分数の計算（小数のかけ算、割り算と分数の四則計算）	26 ～ 30	
4	文字と式、式の展開（文字式の計算の考え方、分配法則）		
5	因数分解(因数分解の考え方)		
6	実力テスト（第1回～第5回の学習確認テスト）		
7	倍数と約数（倍数、約数の考え方）		
8	素数と素因数分解（素数の考え方、素因数分解の解法）	31 ～ 35	教育採用試験練習問題 (中学年内容)
9	実力テスト（第6回～第8回の学習確認テスト）		
10	最小公倍数と最大公約数の2通りの解法		
11	数列（n番目の数の解法、数列の和の求め方）		
12	平方根（平方根のたし算・ひき算の解法、かけ算の解法）		
13	実力テスト（第9回～第12回の学習確認テスト）	36 ～ 45	教育採用試験練習問題 (高学年)
14	1次方程式の解き方（移項の考え方、Xの係数の取り方）		
15	1次方程式の文章題（1次方程式の考え方）		
16	比と比の文章題（比の考え方、文章題の解法）		
17	割合（割、分、%の考え方、割り増・割り引の解法）		
18	連立方程式（加減法と代入法の解法）	45 ～ 60	教育採用試験練習問題 (模擬テスト)
19	不等式（不等式の考え方）		
20	20～25 教育採用試験練習問題 学習指導要領		
21			
22			
23			

3. 評価方法

・学習状況の確認：授業記録（学習ノート）において理解、思考表現により判定
・学習意欲、授業態度、問題解決能力に基づき評価する。
・科目の成績評価：演習問題試験により評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
小学校全科らくらくマスター	小山隆之（資格試験研究会編）	実務教育出版 文英堂

5. その他・特記事項

--

2024年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教授教育法規		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 (授業方法:)

授業のテーマ
教育法規の体系を理解し、近年に出題された基本的な教育法規問題の出題傾向を分析し教員採用試験の効率的な対策を図り合格に必要な知識を身につけることが出来る。
授業の概要
教育に関する法規を理解できるようにする。法令の読み方、法源と法体系、法律用語の基礎知識を確認し、各教育法規の条文・内容に関する問題をグループで解いていく。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業45回数 回＝総授業時数 分)

1	オリエンテーション (授業の内容、評価等に関する説明)	24	児童憲章、児童の権利に関する条約
2	法令の読み方	25	教職員の配置・職務・任用
3	法源と法体系	26	教員免許状
4	法律用語の基礎知識	27	教員研修
5	日本国憲法	28	教員の服務・処分・勤務規則
6	教育基本法 1	29	教育委員会
7	教育基本法 2	30	まとめ
8	教育を受ける権利	31	
9	義務教育	32	
10	教育の中立性	33	
11	学校とは	34	
12	各学校の目的・目標	35	
13	学校の設備	36	
14	学級の編成	37	
15	教育活動の日程	38	
16	学校保健	39	
17	教科書・著作権	40	
18	開かれた学校運営	41	
19	こどもの就学、就学に関する業務	42	
20	懲戒	43	
21	健康診断と感染症予防	44	
22	指導要録と出席管理	45	
23	児童・生徒の保護		

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』	舞田敏彦著	実務教育出版
『教員採用試験対策 問題集1 教職教養』	東京アカデミー編	七賢出版

5. その他・特記事項

--

2024年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教採教育史		教員名	乾 芳壽	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて教諭・県指導主事・教頭・校長を得ている。			

1. 授業概要（授業方法： 問題演習 ）

授業のテーマ
西洋教育史における出題傾向を分析し教員採用試験の効率的な対策を図り合格に必要な知識を身につけることが出来る。
授業の概要
教育に関する法規を理解できるようにする。法令の読み方、法源と法体系、法律用語の基礎知識を確認し、各教育法規の条文・内容に関する問題をグループで解いていく。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業15回数 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	西洋教育史 古代史	25	
3	西洋教育史 中世	26	
4	西洋教育史の人物と業績 1	27	
5	西洋教育史の人物と業績 2	28	
6	西洋教育史の人物と業績 3	29	
7	日本教育史年表	30	
8	日本教育史の人物と業績 1	31	
9	日本教育史の人物と業績 2	32	
10	日本教育史の人物と業績 3	33	
11	まとめ	34	
12	演習問題 1	35	
13	演習問題 2	36	
14	演習問題 3	37	
15	演習問題 4	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』	舞田敏彦著	実務教育出版
『教員採用試験対策 問題集 1 教職教養』	東京アカデミー編	七賢出版

5. その他・特記事項

--

2024年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教授教育原理		教員名	乾 芳壽	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて教諭・県指導主事・教頭・校長を得ている。			

1. 授業概要（授業方法： 問題演習 ）

授業のテーマ
教授教育原理における出題傾向を分析し教員採用試験の効率的な対策を図り合格に必要な知識を身につけることができる。
授業の概要
教育原理に関する内容（基本概念・共重・学習理論・教育課程の概念・道徳教育・総合的な学習・特別活動・学習指導要領の変遷・改訂ポイント・学力調査・教育時事・学校経営等）を理解できるようにする。教育原理に関する問題をグループで解いていく。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業45回数 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	発達障害
2	教育基本概念	25	同和教育
3	教授・学習理論	26	人権教育
4	教育課程の概念	27	社会教育
5	学習指導要領（幼稚園教育要領と学習指導要領）	28	キャリア教育
6	学習指導要領（小・中学校学習指導要領総則について その1）	29	情操教育
7	学習指導要領（小・中学校学習指導要領総則について その2）	30	安全教育
8	学習指導要領（ 高等学校学習指導との関連）	31	健康教育
9	学習指導要領（小学校学習指導要領の変遷）	32	保健指導
10	道徳教育	33	食に関する指導
11	外国語活動	34	34～40まで沖縄県教員採用試験の過去問題を行う
12	総合的な学習の時間	35	
13	特別活動	36	
14	学習指導	37	
15	学力調査	38	
16	沖縄県の学力	39	
17	生徒指導①（生徒指導提要について）	40	
18	生徒指導②（教育課題について）	41	
19	問題行動①（現状について）	42	
20	問題行動②（指導について）	43	
21	特別支援教育	44	
22	特別支援教育制度	45	
23	特別支援学校学習指導要領		

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』	舞田敏彦著	実務教育出版
『教員採用試験対策 問題集1 教職教養』	東京アカデミー編	七賢出版

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	小学校学習支援ボランティア			喜屋武光代	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要（授業方法： 実習 ）

授業のテーマ

小学校の授業に学習支援者として参加し、授業担当教諭の児童に対する指導方法や授業外での児童との関わり方を参考にしながら学習支援を行うことにより教職に対する興味関心が深まるとともに、教職に対する理解を深める。

授業の概要

希望する小学校での学習支援を行う。実習の形態は1日4時間の10日間及び事前指導・事後指導

2. 授業計画（実習1時限45分×4授業）×10日 40時間

1	1オリエンテーション（実習小学校との打ち合わせ） ○小学校の授業に入り、学習支援をしたり授業を観察したりして指導方法やこどもの実態を知る ○支援内容は各学校によって違いがあるが、主な学習支援として行っている活動は、以下のとおりである。 ・計算問題の解答（○付け） ・漢字学習の解答（○付け） ・図工活動における補助（ノコギリ、ハサミ、彫刻刀等使用時） ・体育活動における補助（器械運動・水泳・陸上競技等） まとめ（お礼状・実習記録簿の整理）	24	
2		25	
3		26	
4		27	
5		28	
6		29	
7		30	
8		31	
9		32	
10		33	
11		34	
12		35	
13		36	
14		37	
15		38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：実習先担当者の評価 実習記録簿の記載事項内容

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
信頼される教職員を目指して 沖縄県 沖縄県教職委員会懲戒処分の指針	沖縄県教育委員会	

科目名	教採教育心理学		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要（授業方法： ）

授業のテーマ 発達理論、学習理論など教育心理の基本事項の問題演習を行う中で基本的な知識の理解を深めるとともに、名嘉真とともに協力し、教員採用試験問題の攻略とする。
授業の概要 教職を目指す者にとって必要不可欠な、教育心理の基本的な知識理解を深め、教員採用試験問題の攻略としてのグループ学習を行う。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業15回数 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	認知と記憶	25	
3	学習理論	26	
4	動機づけと欲求	27	
5	学習指導方法	28	
6	学習評価法	29	
7	発達課題	30	
8	人格理論	31	
9	防衛機制	32	
10	学級集団の性質と指導	33	
11	知能	34	
12	カウンセリング・心理療法	35	
13	特別支援	36	
14	教育評価	37	
15	まとめ	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』 『教員採用試験対策 問題集1 教職教養』	舞田敏彦著 東京アカデミー編	実務教育出版 七賢出版

5. その他・特記事項

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教授教育時事		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 （授業方法： 講義・問題演習 ）

授業のテーマ
教育時事の基本事項の問題演習を行う中で基本的な知識の理解を深めるとともに、仲間とともに協力し、教員採用試験問題の攻略とする。
授業の概要
教職を目指す者にとって必要不可欠な、現代の教育課題の基本的な知識理解を深め、教員採用試験問題の攻略としてのグループ学習を行う。

2. 授業計画 （1時限 50 分×授業15回数 回＝総授業時数 分）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成	25	
3	生徒指導提要	26	
4	障害のあるこの教育支援	27	
5	幼保小の架け橋プログラムの実施	28	
6	こども家庭庁・こども基本法	29	
7	いじめの重大事態・・・今後の対策	30	
8	デジタル教材	31	
9	ヤングケアラーの実態求められる支援	32	
10	不登校児童生徒	33	
11	「子どもの貧困」	34	
12	教員による児童生徒性暴力防止法	35	
13	ジェンダー平等教育	36	
14	リカレント教育	37	
15	まとめ	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価：科目試験により評価

4. テキスト・参考文献等 （書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』	舞田敏彦著	実務教育出版
『教員採用試験対策 問題集1 教職教養』	東京アカデミー編	七賢出版
教育動向2024	藤原光政	明治図書

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	実習・事前事後指導		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 (授業方法: 講義・演習)

授業のテーマ
教職における様々な職務内容を考えることにより、教職に対する興味関心が深まるとともに、教職に対する理解を深める。
授業の概要
教職を目指す者にとって必要不可欠な、職務内容の基本的な知識理解を深め、児童と触れ合いや、教職員とう中で気を付けるべき事項等を学び実践につなげる。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業・事前3回事後2回＝計5回)

1	オリエンテーション (実習の主旨・内容・評価等に関する説明)	24	
2	教職の職務 (職場環境・身分・服務・分限と懲戒)	25	
3	児童理解と業務上の安全管理	26	
4	実習事後指導 (提出物の点検・実習振り返り・評価・謝礼)	27	
5	まとめ (教職に就くための今後の努力目標)	28	
6		29	
7		30	
8		31	
9		32	
10		33	
11		34	
12		35	
13		36	
14		37	
15		38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：実習先担当者の評価 実習記録簿の記載事項内容

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
	沖縄県教育委員会	実務教育出版 七賢出版 明治図書

--

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	教育支援ボランティア実 習事前指導		教員名	喜屋武光代	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

授業のテーマ

児童理解を深め、学習活動に活かす事を重視する本校の教育方針に則り、小学校教育実習の前の年に児童との関わり方を学ぶことを目的として教育支援員として小学校において実習を行う。

2. 授業計画 事前指導50分×8実習1時限45分×4授業×10日)事後指導50分×8

1	オリエンテーション (実習の主旨・内容・評価等に関する説明)	24	
2	事前指導 1 教職の職務 (職場環境・身分・服務・分限と懲戒)	25	
3	事前指導 2 児童理解と業務上の安全管理	26	
4	事前指導 3 (提出物の点検・書類作成、履歴書等)	27	
5	まとめ (教職に就くための今後の努力目標)	28	
6		29	
7		30	
8		31	
9		32	
10	(提出物の点検・実習振り返り・評価・謝礼)	33	
11		34	
12		35	
13	まとめ (教職に就くための今後の努力目標)	36	
14		37	
15		38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：実習先担当者の評価 実習記録簿の記載事項内容

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
信頼される教職員を目指して 沖縄県 沖縄県教職委員会懲戒処分の指針	沖縄県教育委員会	実務教育出版 七賢出版 明治図書

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	学童保育実習		教員名	喜屋武光代	配当年次	3 年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 （授業方法： 実習 ）

授業のテーマ
学童（児童クラブ）において担当職員の児童との関わり方を参考にしながら学童での活動を児童とともに行うこと により児童理解を深め、今後の教育活動に活かす。
授業の概要
希望する学童（児童クラブ）において活動内容を理解し、職員とともに活動を行う。
実習の形態は1日8時間×10日間＝40時間

2. 授業計画 （実習1日8時間）×10日 80時間(オリエンテーション・事後活動を含む)

1	オリエンテーション（実習学童（児童クラブ）との打ち合わせ）	24	
2		25	
3		26	
4	○学童（児童クラブ）において活動を行うことによって	27	
5		28	
6	こどもとの接し方、放課後の児童の実態を知る	29	
7		30	
8	○活動内容は各学童（児童クラブ）によって違いはあるが、主な活動内容は、以下のとおりである。	31	
9		32	
10		33	
11	・宿題の支援（○付け） ・レクリエーションの参加 ・お誕生会の準備 ・体育的活動における補助（固定遊具・水泳） ・おやつの準備 ・活動準備と片づけ	34	
12		35	
13		36	
14		37	
15		38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

学習状況の確認：実習先担当者の評価 実習記録簿の記載事項内容

4. テキスト・参考文献等 （書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
信頼される教職員を目指して 沖縄県 沖縄県教職委員会懲戒処分の指針	沖縄県教育委員会	

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	プログラミング		教員名	伊集 朝章	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	専門学校でIT教育関係の授業実践を行っている。			

1. 授業概要（授業方法： 講義・演習 ）

授業のテーマ
2020年度より小学校ではプログラミング教育が必修となり子どもたちはゲーム・パズル感覚で遊びながらプログラミング的思考力を高めています。そこで指導者となる学生に実際にプログラミング教育に触れ初級検定に挑戦してもらうことで、小学校教諭としての能力となる。
授業の概要
授業実践を行う中で児童に身につけてほしいプログラミング的思考力とは何かを考えながらスクラッチにアクセスし作品作りを行う。
プログラミング検定初級エントリーコースに挑戦する。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業15回＝総授業時数15時間）

1	オリエンテーション（授業の内容、評価等に関する説明）	24	
2	スクラッチを使えるようにする	25	
3	自由にゲーム作りをする基本	26	
4	作品を作ってスクラッチに慣れよう	27	
5	プログラミングの考え方 順次実行・繰り返し・条件分け	28	
6	スピードキャットを捕まえろ	29	
7	めくるたびに動く絵本	30	
8	タコス好きのゴーストを動かせ	31	
9	帽子で虫が取れるかな	32	
10	瞬間移動するフグを捕まえろ	33	
11	ケンタウロスの勝手な占い	34	
12	「カエルの歌」ライブ	35	
13	ぐるぐるラインアート	36	
14	マッチングカード	37	
15	検定にチャレンジ（エントリー級）	38	
16		39	
17		40	
18		41	
19		42	
20		43	
21		44	
22		45	
23			

3. 評価方法

授業態度、学習意欲、作品、検定結果を総合的に判断する。

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
小学校6年生までに必要なプログラミング的思考力が1冊でしっかり身につく本	熊谷基継	かんき出版
スクラッチ3,0入門	RYUAN	BNN
スクラッチで楽しむレッツ！プログラミング	大森 康文	FOM出版

5. その他・特記事項

--

科目名	卒業研究		教員名	喜屋武光代	配当年次	4年
実務教員	—	実務教員の紹介				

1. 授業概要 (授業方法: 講義・実習)

自主的に、授業・アンケート調査・文献研究等を計画・進捗し研究に取り組み、得られた成果に自己の考察を加える。また、成果を論理的に卒業研究論文にまとめ、期限内に提出する。最終的に研究成果をパワーポイントや抄録としてまとめ、発表する。

○到達目標

この授業を履修することで調べる・まとめる・分析する・発表する能力を修得できるか

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 ○○回＝総授業時数 ○○ 分)

1	対面	オリエンテーション：卒業研究とは・テーマの決定方法・研究計画の立て方等
2	対面	研究テーマ・テーマ設定理由の検討
3～4	対面	研究テーマ検討会
5	対面	研究計画の詳細決定
6～10	個別	各自の研究①：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
11	対面	中間報告準備
12～14	対面	中間報告会
15～19	個別	各自の研究②：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
20	対面	進捗状況報告
21	対面	卒業論文のまとめ方・発表の仕方の確認
22～26	個別	各自の研究③論文作成：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
27	個別	各自の研究④発表原稿・発表資料作成：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
28～30	対面	卒業研究発表 校内リハーサル
31～32	個別	各自の研究⑤発表修正
33～38	対面	卒業研究発表 会場リハーサル
38～44	対面	卒業研究発表会
45	対面	卒業研究発表会リフレクション

3. 評価方法

到達目標の80%以上に到達した学生を合格とする。(指導教員2人の合議)

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
卒業研究ガイドノート		
各自必要文献		

5. その他・特記事項

--

科目名	卒業研究		教員名	初鹿野 修・喜屋武光代	配当年次	4年
実務教員	—	実務教員の紹介				

1. 授業概要 (授業方法: 講義・実習)

自主的に、授業・アンケート調査・文献研究等を計画・進めし研究に取り組み、得られた成果に自己の考察を加える。また、成果を論理的に卒業研究論文にまとめ、期限内に提出する。最終的に研究成果をパワーポイントや抄録としてまとめ、発表する。

○到達目標

この授業を履修することで調べる・まとめる・分析する・発表する能力を修得できるか

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 ○○回＝総授業時数 ○○ 分)

1	対面	オリエンテーション：卒業研究とは・テーマの決定方法・研究計画の立て方等
2	対面	研究テーマ・テーマ設定理由の検討
3～4	対面	研究テーマ検討会
5	対面	研究計画の詳細決定
6～10	個別	各自の研究①：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
11	対面	中間報告準備
12～14	対面	中間報告会
15～19	個別	各自の研究②：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
20	対面	進捗状況報告
21	対面	卒業論文のまとめ方・発表の仕方の確認
22～26	個別	各自の研究③論文作成：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
27	個別	各自の研究④発表原稿・発表資料作成：担当教員との相談も含む。しかし、担当教員に頼りすぎず、自ら積極的に研究を進める
28～30	対面	卒業研究発表 校内リハーサル
31～32	個別	各自の研究⑤発表修正
33～38	対面	卒業研究発表 会場リハーサル
38～44	対面	卒業研究発表会
45	対面	卒業研究発表会リフレクション

3. 評価方法

到達目標の80%以上に到達した学生を合格とする。(指導教員2人の合議)

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
卒業研究ガイドノート		
各自必要文献		

5. その他・特記事項

--

科目名	教職基礎演習		教員名	初鹿野 修	配当年次	小教2年
実務教員	—	実務教員の紹介				

1. 授業概要	(授業方法: 講義・演習)	※2023年度に実施したが、実習・学生の出席状況により欠講義(評価なし)とした。 2024年度は1人のため休講
教職における様々な内容を掘り下げて考えることにより、教職に対する興味関心が深まるとともに、教職に対する理解を深める。		
○到達目標 1 教職の職務を理解する 2 教育フィールド研究とつなげて、いろいろなフィールドでの職務を理解する 3 教職に対する諸課題に対して、理解を深める		

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 ○○回＝総授業時数 ○○ 分)

1	オリエンテーション
2	○教職の職務
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

3. 評価方法

テーマに関する興味関心度・授業態度・レポート

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
参考プリント・新聞等		

5. その他・特記事項

--

科目名	教採・面接		教員名	初鹿野 修	配当年次	4年
実務教員	—	実務教員の紹介				

1. 授業概要 (授業方法: 講義・演習)

教員採用試験2次の面接の対応策を学ぶ。理論的な理解を通して、実際の面接演習を実施することにより、より実践的な学びを深める

○到達目標 教員採用試験の面接の意味・意義を理解し、自分の考えを整理し、面接官の前で落ち着いて発表できるようにする。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 ○○回＝総授業時数 ○○ 分)

1	対面	オリエンテーション：教員採用試験における面接の意味と意義
2	対面	面接内容①を通して、各自でその質問に対しての自分の考えを整理する
3	演習	第1回受験者役・面接官役を交代して行い、実際に面接を体験する
4		
5		
6	対面	第1回目の演習を通して、自己分析をし、質問に対する自分の考えを整理する
7	対面	面接内容②を通して、各自でその質問に対しての自分の考えを整理する
8	対面	面接内容③を通して、各自でその質問に対しての自分の考えを整理する
9	演習	第1回の反省を踏まえ、第2回受験者役・面接官役を交代して行い、実際に面接を体験する
10		
11		
12	対面	第2回目の演習を通して、自己分析をし、質問に対する自分の考えを整理する
13	演習	一人一人、仮想面接官（本校教員）の面接を実施する。面接を受けない学生は、受けている学生の間答から学ぶ
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

3. 評価方法

面接内容を理解し、自分の考えを整理することができ、面接官の前できちんと適切な音量で発表することができれば、合格評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
プリント		

5. その他・特記事項

--

科目名	教育フィールド研究		教員名	初鹿野 修	配当年次	1年
実務教員	現場教師・退職校長	実務教員の紹介	いろいろな教育フィールドの実践者をゲストティーチャーとして講話をしていただく			

1. 授業概要（授業方法： 講義・講話 ）

※現在1年生が1人のため休講

教育フィールドの講話を聴き、教科・学級指導以外の小学校教員としてのフィールドについて、実際の場面での講話を通して実学を学ぶことにより、小学校教員への魅力・楽しさを感じることができる。

○到達目標 1 小学校教育についての理解 2 小学校以外のフィールドの理解 3 教育実践の個々のレベルアップ

※ゲストティーチャーの都合により内容は前後する。また、授業時数との関係で実施できない項目もある

1		オリエンテーション・小学校教員のフィールドの把握
2		
3		
4		小学校教師の理想と現実：ゲスト・新任教員
5		
6		在外教育施設での教育・職務：ゲスト・在外教育経験者
7		
8		指導主事の職務の理解：ゲスト・指導主事経験者
9		
10		学校管理者の職務：ゲスト・校長・教頭経験者
11		
12		教員採用試験・沖縄事情の理解
13		
14		初任者になるまでに望むこと：ゲスト・初任者指導教員経験者
15		
16		教員の研修と修養について：ゲスト・校内研究主任及び教育センターでの研修経験者
17		
18		学び合いの実践：ゲスト・学び合いの授業経験者
19		
20		小学校における教育フィールドのまとめ

3. 評価方法

ゲストティーチャーの授業の関心度及び態度・各レポート

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
ゲストティーチャーの作成プリント 採用試験要綱・沖縄事情ガイドノート		

5. その他・特記事項

--

科目名	学級運営演習		教員名	初鹿野 修(喜屋武光代)	配当年次	4年
実務教員	—	実務教員の紹介				

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

特別活動における「教室経営」の演習として、学級活動コーナー・学級活動(2)(3)と関連を図る効果的な掲示・児童の主体的な活動につながる掲示・学級経営がうまくいくための掲示等を実際に作成する。卒業まじかのため現場に入って使えるものを作成する。

○到達目標 1 何が必要で、何が効果的かを調査し考える 2 自作による作成物が完成する

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 ○○回＝総授業時数 ○○ 分)

1	対面	オリエンテーション：教室経営について
2	対面	自分の考えたものを発表し、情報を全体で共有する。必要物品の洗い出し。
3		各自製作
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11	対面	作成物の発表
12	対面	授業リフレクション
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

3. 評価方法

到達目標の90%以上の到達で合格。成果物の評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
特になし		

5. その他・特記事項

--

科目名	話し合い活動実践演習	教員名	初鹿野 修・喜屋武光代	配当年次	1～4年
実務教員	—	実務教員の紹介			

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

特別活動における「学級活動：話し合い活動」の演習として、学級会・学級活動（２）（３）・ディベート・場面指導を演習として、実践的に学ぶ

○到達目標 1 話し合い活動の基本的な手順を知る 2 教育現場で起きている諸問題についての話し合い活動ができる 3 諸課題に対して、ディベートを行うことにより、物事を論理的に整理し、意見を言うことができるようにする 4 いろいろな場面指導を通して、学校現場での子ども・保護者・同僚等への対応を学ぶ

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 ○○回＝総授業時数 ○○ 分)

1	オリエンテーション・特別活動とは、学級活動の内容
2	小学校教員としての話し合い活動の具体的な内容。演習長を決め、自主的演習とする
3	①学級活動（１）：議題を決めての話し合い活動の実践 ・学級に起こりうる議題の設定 ・司会の学び ・意見を言うことの学び ・その他
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	②学級活動（２）（３）：日常生活や学習への適応等・一人ひとりのキャリア形成と自己実現に向けての意思決定
11	
12	
13	③テーマを決めてのディベート活動の実践 ・喫緊の課題 ・論理性のある意見 ・ディベートの司会、評価ができる
14	
15	
16	④場面指導の自己の教育理念に沿った指導の実践 ・学校で起こりうる場面指導の演習 ・自分の教育理念に沿った指導 ・学び合いを通してほかの学生から学ぶ
17	
18	
19	
20	

3. 評価方法

出席率・授業態度・積極性等を総合的に判断する

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
特別活動指導資料・みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動	文部科学省	文溪堂

5. その他・特記事項

--